

令和2年3月30日

令和元年度 一年間の振り返り（施設の自己評価結果報告書）

幼保連携型認定こども園
八田荘第二こども園

◆園全体◆

- ・保育室及びホール等、全ての空調設備を新しく入れ替えした。
- ・園舎外壁及び屋根のペンキを塗り替えし、絵柄の補修を行った。
- ・園庭の電波時計台を道路側に新規移設したことにより、地域の方々にも活用して頂けるようになった。
- ・中庭の手動ルーフを新しくした事で、真夏も日陰で遊ぶ事ができた。
- ・保育室とホール及び職員トイレ、全ての床を貼り換え工事し、乾式床にした事で、掃除・消毒の徹底ができた。
- ・0歳1歳クラスの汚物入れを蓋付き容器にした事で、感染症予防に努めることができた。
- ・避難訓練及び防犯訓練については予告無しで実施したり、時間の特定をしない事で、咄嗟の対応に取り組んだ。その中で避難バックの中身の充実ができていなかったり、実際に避難場所まで行かなかった事は反省である。次年度に向け、全職員気を引き締め、危機管理能力を各自、身につけたい。
- ・玩具の見直しができていなかったなので、次年度は合同保育室や人数や年齢に合った玩具を提供できるよう担当を決めて取り組んでいく。

◆各クラス◆

（0歳児）

- ・離乳食等は月齢だけで進めるのではなく、家庭と連携し、一人ひとりの育ちに合わせて進めた事により、スムーズに完了食への移行ができた。
- ・前期は手作り玩具を沢山作っていたが、後半はなかなか作る事ができていなかったなので、一年を通して育ちに合った玩具を作るようにしたい。

（1歳児）

- ・コーナー作りや年齢に沿った玩具の用意について、話し合ったり考えていたが、実践への取り組みが難しかった。
- ・3学期には次年度に向けての生活を考慮して、生活習慣の自立へ向けて取り組みたい。

(2歳児)

- ・3歳児クラスへのスムーズな移行ができるように、うがいや座卓での食事を3学期から取り入れた。
- ・インフルエンザや新型コロナウイルスの感染予防の為に、室内の換気や室温・湿度の調整を丁寧に行った。
- ・環境構成を工夫したり、コーナー遊びを充実できるように、玩具の研究にも取り組めれば良かった。

(3歳児)

- ・既存の玩具だけではなく、コーナー作りや環境構成を整え、成長に見合った玩具を提供するようになりたい。
- ・3学期には進級に向けて身の回りの事を自分でできるよう、丁寧に見守ったことで、自分で考えて行動できるようになってきた。
- ・一年を通して、こまめな水分補給や換気を行う事で、大きな感染症の広がりが無かった。

(4歳児)

- ・玩具の見直しを行い、発達に合った玩具の提供ができればよかった。
- ・行事の取り組み等は計画を立て早めにとりかかった事で、無理なく進める事ができた。また、様々な活動の評価・反省を可視化する事で、教育・保育の振り返りが十分できた。

(5歳児)

- ・クラス全体やグループの中で、自分の気持ちや意見を発表したり、友だちの良い所を認められるような場を多く設けた。それによって色々な人の前で発表できるようになった。
- ・作品展の前後には製作コーナーを設けた事によって、夢中に物づくり活動をしていたので、一年を通して活動できる場を作ればよかった。